



記者発表資料
平成22年6月8日
横浜新都市交通株式会社

シーサイドラインの平成21年度決算の概要

シーサイドラインを運営する横浜新都市交通株式会社（代表取締役社長 太田 浩雄）の平成21年度決算を報告いたします。

1. 決算の概要

当期の経常利益は906百万円、当期純利益は646百万円となりました。

営業収入は、雇用情勢が引き続き厳しい状況の中、沿線企業従業員の減少ならびに高速道路のETC割引の影響に伴う沿線集客施設利用者の減少などにより、前期比101百万円減の3,861百万円となりました。営業費用は、本社、現業業務の効率化による要員の見直し及び外注工事の直営化による修繕工事費の圧縮等の結果、前期比181百万円減の2,837百万円となりました。

債務超過額については、前期比で646百万円好転し、当期末現在で1,470百万円となりました。

翌期以降についても引き続き、輸送の安全確保及びお客様サービス向上に努めるとともに、安定した経営基盤の確立を目指し、全社員一丸となって取り組んでまいります。

（単位：百万円、単位未満切捨て）

	平成21年度	平成20年度	増減 (率)
営業収入	3,861	3,962	△101 (△2.6%)
営業費用	2,837	3,018	△181 (△6.0%)
営業利益	1,024	944	80 (8.5%)
経常利益	906	857	48 (5.7%)
当期純利益	646	498	148 (29.7%)

	平成22年3月末	平成21年3月末	増減 (率)
債務超過額	1,470	2,117	646 (△30.5%)

2. 当期の主な取組み

- (1) 安全対策 ☆ATC/ATO/列車無線地上設備更新
ホームドア機器更新
- (2) サービス向上 ☆エレベーター設置に伴う駅舎改修（バリアフリー化）
※ラッチ内全駅設置完了
駅案内表示ユニバーサルデザイン化
☆全無人駅テレビ付インターホン新設
☆八景島駅トイレ新設
- (3) 増収対策 ☆ラッピング列車の運行
副駅名称の販売
・幸浦駅（ミツハシライス前）
・産業振興センター駅（アルファ本社前）
・市大医学部駅（ニッパツ前）
・八景島駅（横浜・八景島シーパラダイス）

3. 旅 客 人 員 の 状 況

当期は、繁忙期における新型インフルエンザ及び天候不順などの影響により、前年度に比べ325千人(1.8%)の減少となりました。

(単位:千人、単位未満切捨て)

	平成21年度	平成20年度	増 減 (率)
旅 客 人 員	18,016	18,341	325 (1.8%)

4. 平 成 2 2 年 度 の 見 通 し

22年度は、運輸収入が減少傾向に推移すると見込まれる中、安全確保のための維持管理費を確保しつつ、修繕工事費の見直し等により極力費用の削減を目指してまいります。

また、今後も景気動向など収入面に与える不確定要素が依然としてありますが、黒字体質の維持を図りつつ経営環境の変化に迅速に対応し、収支の改善に努めてまいります。

なお、22年度内に新型車両1編成(5両)を導入し、以後引き続き全16編成を26年度までに導入する予定です。